

注3

大学番号：私602

[平成24年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

## 日本ウェルネススポーツ大学

注2

### 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人タイケン学園

平成26年5月1日現在

#### 作成担当者

担当部局（課）名 大学法人事務局

職名・氏名 事務主任・齋藤 美和子

電話番号 03-3938-8689

（夜間） 03-3938-8689

F A X 03-3938-6327

e-mail m.saito@taiken.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成〇〇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設 置 者

学校法人タイケン学園

## (2) 大 学 名

日本ウェルネススポーツ大学

## (3) 大学の位置

〒300-1622  
茨城県北相馬郡利根町大字布川1377番  
〒300-1622  
茨城県北相馬郡利根町大字布川1649番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	( シバオカ ミチオ ) 柴岡 三千夫 (平成9年10月)		
学 長	( シバオカ ミチオ ) 柴岡 三千夫 (平成24年4月)		
学 部 長	( マツモト ミツヒロ ) 松本 光弘 (平成24年4月)		
学 科 長 等	( マツモト ミツヒロ ) 松本 光弘 (平成24年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)  
平成26年度に報告する内容 → (26)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は、平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
スポーツプロモーション学部 スポーツプロモーション学科 学士(スポーツプロモーション学)	4年	220人	3年次 60人	1,000人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	220人 ( ) [ - ]	人 ( ) [ - ]	220人 ( 60 ) [ - ]	人 ( ) [ - ]	220人 ( 60 ) [ - ]	人 ( ) [ - ]	0.36 倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	62 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	145 ( 12 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	70 ( 16 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	61 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	144 ( 12 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	68 ( 16 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	61 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	144 ( 12 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	68 ( 16 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	59 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	144 ( 12 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	66 ( 16 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A			0.26		0.55		0.29			

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

## (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考	
	春季入学	その他	春季入学	その他	春季入学	その他	春季入学	その他		
1年次	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] 59	[ - ] —	[ - ] 144	[ - ] —	[ - ] 66	[ - ] —		
2年次	/		[ - ] —	[ - ] —	[ - ] 50	[ - ] —	[ - ] 138	[ - ] —		
3年次			/		[ - ] —	[ - ] —	[ - ] 12	[ - ] —	[ - ] 65	[ - ] —
4年次					/		[ - ] —	[ - ] —	[ - ] —	[ - ] 11
計			[ - ] —	[ - ] —			[ - ] 59	[ - ] —	[ - ] 206	[ - ] —

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

## (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	— 人	0 人	平成23年度	— 人	— 人		#VALUE! %
			平成24年度	— 人	— 人		
			平成25年度	— 人	— 人		
			平成26年度	— 人	— 人		
平成24年度 入学者	59 人	10 人	平成24年度	9 人	— 人	就職(1人)、家庭の事情(経済的理由)(8人)	0.2 %
			平成25年度	1 人	— 人	家庭の事情(経済的理由)(1人)	
			平成26年度	0 人	— 人		
平成25年度 入学者	156 人	7 人	平成25年度	7 人	— 人	就学意欲の低下(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、家庭の事情(経済的理由)(5人)	0.0 %
			平成26年度	0 人	— 人		
平成26年度 入学者	82 人	0 人	平成26年度	0 人	— 人		0 %
合 計	297 人	17 人					0.1 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<スポーツプロモーション学部 スポーツプロモーション学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
自己開発系	文章作成・表現法Ⅰ	1前	2			1		1		2	教員補充により、担当教員を追加(26) 担当 中村道広(講師) 平成25年7月 教員審査済 判定 可 教員補充により、担当教員を追加(26) 担当 中村道広(講師) 平成25年7月 教員審査済 判定 可	
	文章作成・表現法Ⅱ	1後		2		1		1				
	コンピュータ情報処理Ⅰ	1前		2						1 兼 2	教員適性を考慮したため、担当兼任講師を変更(24) 担当 鳥居哲夫(兼任講師)	
	コンピュータ情報処理Ⅱ	2後		2						1 兼 2		
	情報セキュリティ	2通	4								兼 1	教員適性を考慮したため、担当兼任講師を変更(25) 担当 洪井二三男(兼任講師)
	プレゼンテーション法	1後 2前		2							1 兼 1	教育効果を考慮し、配当年次を変更(24)
	キャリア開発論Ⅰ	2前	2								兼 1	
	キャリア開発論Ⅱ	2後	2								兼 1	
	問題解決力開発法	2,3後 2-3前		2							兼 1	教育効果を考慮し、配当年次を変更(25)
思考力開発法	2,3前		2							兼 1		
共通科目 コミュニケーション系	メディアリテラシー	1後	2	2			1				兼 1	教育効果を考慮し、必修科目へ変更(25)
	現代社会とコミュニケーション	1,2後		2							兼 1	教員適性を考慮したため、担当兼任講師を変更(25) 担当 井守和寿(兼任講師)
	日本文化論	1,2前		2							兼 1	教員適性を考慮したため、担当兼任講師を変更(25) 担当 上原一大郎(兼任講師)
	海外文化論	2,3後		2		1						
	国際文化比較論	2,3前		2		1						
	メディア文化論	2,3後		2		0 +					兼 1	担当教員の就任遅延のため、兼任講師として担当(25)
	英語コミュニケーションⅠ	1,2前		2		1				1		
	英語コミュニケーションⅡ	1,2後		2		1						
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	2,3前		2						1 兼 1		
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	2,3後		2						兼 1		
	中国語コミュニケーションⅠ	2,3前		2						1 1		
	中国語コミュニケーションⅡ	2,3後		2						1		
教養系	政治学Ⅰ	1,2前		2		1						
	政治学Ⅱ	1,2後		2		1						
	経営学	1,2前		2							兼 1	
	経済学	2,3後		2							兼 1	
	法学Ⅰ	1,2前		2							兼 1	教員適性を考慮したため、担当兼任講師を変更(24) 担当 洪井二三男(兼任講師)
	法学Ⅱ	1,2後		2							兼 1	教員適性を考慮したため、担当兼任講師を変更(24) 担当 洪井二三男(兼任講師)
	文学 哲学	2,3後 2,3前		2 2		1						兼 1

	倫理学	2, 3 後		2					兼 1
	社会学	2, 3 後		2					兼 1
	政策科学	2, 3 前		2			1		
実践課程系	スポーツプロモーション論概論	1, 2 前	2		1				<p>専任（教授）逝去により、担当教員（専任）変更（26）</p> <p>担当 佐伯勝夫（教授） 平成25年7月 教員審査済 判定 可</p> <p>専任（教授）逝去により、担当教員変更（25）</p> <p>担当 佐伯勝夫（教授） 平成25年6月 教員審査提出予定</p> <p>専任（教授）逝去により、担当教員募集（24）</p> <p>専任（教授）逝去により、担当教員（専任）変更（25）</p> <p>担当 佐藤鶴太郎（教授） 平成24年7月 教員審査済 判定 可</p> <p>専任（教授）逝去により、担当教員（専任）変更（24）</p> <p>担当 佐藤鶴太郎（教授） 平成24年6月 提出予定</p> <p>教育効果を考慮し、配当年次を変更（24）</p> <p>担当教員の就任遅延のため、兼任講師として担当（25）</p> <p>履修希望者がいなかったため（26）</p> <p>理事会決議（平成25年11月）において専任解雇処分が承認されたため、担当教員を兼任講師へ変更（26） 担当 熊切圭介（兼任講師）</p> <p>教員補充により、担当教員を追加（26）</p> <p>担当 岡部正人（助教） 平成26年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>教員補充により、担当教員を追加（26）</p> <p>担当 石田良恵（教授） 平成25年7月 教員審査済 判定 可</p> <p>教員補充により、担当教員を追加（26）</p> <p>担当 石田良恵（教授） 平成25年7月 教員審査済 判定 可</p>
	スポーツコーディネーション論概論	1, 2 後	2		1				
	現代スポーツ論	1, 2 前		2	1				
	生涯スポーツ論概論	1, 2 前		2	1				
						1			
	コミュニティスポーツ論概論	1, 2 後		2	1				
	スポーツ行政論	1, 2 前 未開講 1-2 前		2		1			
	ヘルスプロモーション論概論	1, 2 後		2	1				
	フィットネスプロモーション論概論	1, 2, 3 前		2			1		
	ライフスタイル論概論	1, 2 後		2			1		
	トップスポーツ論概論	1, 2 前		2	1				
	障害者スポーツ論概論	1, 2 前 1-2 後		2			1		
スポーツコミュニケーション論概論	2 前 未開講		2	0 1			兼 1		
スポーツジャーナリズム論概論	1, 2 後		2	0 1			兼 1		
民族スポーツイベント論概論	2 前		2			1			
カウンセリング論概論	2 後		2				兼 1		
健康科学概論	1, 2 通	4		2 1		1	2		
スポーツマーケティング論	2 前		2				兼 1		
野外スポーツ運営論	1, 2 前		2				兼 1		
健康スポーツシステム論Ⅰ	1, 2 通		4	2 1			1		
健康スポーツシステム論Ⅱ	1, 2, 3 後		2			1	兼 2		
発育発達・老化論	1, 2 前		2				兼 1		
女性とスポーツ	2, 3 後		2				兼 1		
スポーツ心理学	2, 3 前		2				兼 1		

スポーツ栄養学	1, 2 前 1, 2 後	2	1				教育効果を考慮し、配当年次を変更 (24)
運動生理学	1, 2, 3 前	2			1	1	教員適性を考慮したため、担当兼任講師を変更 (25) 担当 赤萩 誠 (兼任講師)
生涯学習論 I	1, 2 前	2	-			1 兼 1	専任 (教授) 逝去により、担当教員を兼任講師へ変更 (24) 担当 宮地 孝宜 (兼任講師)
生涯学習論 II	1, 2 後	2	-			1 兼 1	教員適性を考慮したため、担当兼任講師を変更 (25) 担当 赤萩 誠 (兼任講師)
現代社会と社会教育	1, 2, 3 通 未開講 1, 2, 3 通	4	0	-		兼 1	専任 (教授) 逝去により、担当教員を兼任講師へ変更 (25) 担当 大串 晃 紀夫 (兼任講師)
代表チームのマネジメント論概論	3, 4 前	2			1		就任辞退により、担当教員を兼任講師へ変更 (26) 担当 三浦 武一 (兼任講師)
スポーツパフォーマンス論概論	2, 3 後 未開講 2, 3 後	2			0	-	就任辞退のため、未開講 (25)
障害者スポーツのマネジメント	1, 2 後 1, 2 前	2		1			教育効果を考慮し、配当年次を変更 (24)
スポーツ・リスクマネジメント論概論	2 後	2			1		
総合型地域スポーツクラブ論	2, 3 前	2			1		
スポーツ経営管理論概論	1, 2 前	2			0	-	担当専任教員退職のため、兼任講師として担当 (26)
スポーツ施設管理運営論	3, 4 後	2			1		
社会教育計画論 I	1, 2 前 未開講 1, 2 前	2	-			兼 1	教員適性を考慮したため、担当兼任講師を変更 (25) 担当 赤萩 誠 (兼任講師)
社会教育計画論 II	1, 2 後	2	-			兼 1	通常開講 (25) 履修希望者がいなかったため (24)
社会教育課題研究 I	2, 3, 4 前	2				1 兼 1	専任 (教授) 逝去により、担当教員を兼任講師へ変更 (24) 担当 宮地 孝宜 (兼任講師)
社会教育課題研究 II	2, 3, 4 後	2				1 兼 1	教員適性を考慮したため、担当兼任講師を変更 (25) 担当 赤萩 誠 (兼任講師)
社会教育事業・施設論	2, 3, 4 通	4	0	-		兼 1	専任 (教授) 逝去により、担当教員を兼任講師へ変更 (25) 担当 大串 晃 紀夫 (兼任講師)
生涯スポーツ論特講 I	3 前	2	1				専任 (教授) 逝去により、担当教員変更 (26)
生涯スポーツ論特講 II	3 後	2	1				担当 谷塚 智 (講師) 平成25年7月 教員審査会 判定 可
コミュニティースポーツ論特講 I	3 前 未開講 3 前	2	0	-		1	専任 (教授) 逝去により、担当教員変更 (25) 担当 谷塚 智 (講師) 平成25年6月教員審査会提出予定 専任 (教授) 逝去により、担当教員募集 (24)



												専任（教授）逝去により、担当教員変更（26） 担当 谷塚哲（講師） 平成25年7月 教員審査済 判定 可 専任（教授）逝去により、担当教員変更（25） 担当 谷塚哲（講師） 平成25年6月教員審査提出予定 専任（教授）逝去により、担当教員募集（24）		
													教員補充により、担当教員を追加（26） 担当 関部正人（助教） 平成26年1月 教員審査済 判定 可	
生 理 ス ポ ー ツ コ ー ス	コミュニティースポーツ論特講Ⅱ	3後 未開講 3後	2	0+	1									
	コミュニティースポーツと地域行政Ⅰ	3前	2	1										
	コミュニティースポーツと地域行政Ⅱ	3後	2	1										
	スポーツクラブ運営論Ⅰ	3前	2				1							
	スポーツクラブ運営論Ⅱ	3後	2				1							
	障害者スポーツ論Ⅰ	3前	2				1							
	障害者スポーツ論Ⅱ	3後	2				1							
														教員補充により、担当教員を追加（26） 担当 関部正人（助教） 平成26年1月 教員審査済 判定 可
	ヘルスプロモーション論特講Ⅰ	3前	2	1					1					
	ヘルスプロモーション論特講Ⅱ	3後	2	1										
	フィットネスプロモーション論特講Ⅰ	3前	2	1										
	フィットネスプロモーション論特講Ⅱ	3後	2	1										
	ヘルスコーディネーション論特講	3前	2	1										
	フィットネスコーディネーション論特講	3後	2	1										
	ライフスタイルとヘルス論特講	3前	2						1					
	ライフスタイルとフィットネス論特講	3後	2						1					
	生涯スポーツプロモーション論演習Ⅰ	4前	2	1								1		
生涯スポーツプロモーション論演習Ⅱ	未開講 4後	2	1								1	履修希望者がいなかったため（26）		
コミュニティースポーツプロモーション論演習Ⅰ	4前	2	1								1			
コミュニティースポーツプロモーション論演習Ⅱ	4後	2	1								1			
ヘルスプロモーション論演習Ⅰ	未開講 4前	2	1								1	履修希望者がいなかったため（26）		
ヘルスプロモーション論演習Ⅱ	未開講 4後	2	1								1	履修希望者がいなかったため（26）		
													履修希望者がいなかったため（26）	
													教員補充により、担当教員を追加（26） 担当 関部正人（助教） 平成26年1月 教員審査済 判定 可 履修希望者がいなかったため（26）	
													履修希望者がいなかったため（26）	
													履修希望者がいなかったため（26）	
													教員補充により、担当教員を追加（26） 担当 関部正人（助教） 平成26年1月 教員審査済 判定 可 履修希望者がいなかったため（26）	
													履修希望者がいなかったため（26）	
													履修希望者がいなかったため（26）	
専 門 専 攻 科 目	フィットネスプロモーション論演習Ⅰ	未開講 4前	2						1	1	1			
													履修希望者がいなかったため（26）	
	フィットネスプロモーション論演習Ⅱ	未開講 4後	2						1	1	1			
	ライフスタイルとヘルス・フィットネス演習Ⅰ	未開講 4前	2						1		1			
	ライフスタイルとヘルス・フィットネス演習Ⅱ	未開講 4後	2						1		1			
														履修希望者がいなかったため（26）
トップスポーツプロモーション論特講Ⅰ	3前	2	1											
トップスポーツプロモーション論特講Ⅱ	3後	2	1											
トップスポーツコーディネーション論特講Ⅰ	3前	2						1						
トップスポーツコーディネーション論特講Ⅱ	3後	2						2						
スポーツパフォーマンスのコーディネーション論特講Ⅰ	3後 未開講 3後	2								0+		兼 1	就任辞退により、担当教員を兼任講師へ変更（26） 担当 三好武一（兼任講師） 就任辞退のため、未開講（25）	

ト ッ プ ス ポ ー ツ プ ロ モ ー シ ョ ン コ ー ス	スポーツパフォーマンスのコーディネーション論特講Ⅱ	3後 未開講 3後	2		0 +		兼1	就任辞退により、担当教員を兼任講師へ変更(26) 担当 三畑武一(兼任講師) 就任辞退のため、未開講(25)	
	民族スポーツイベント論特講Ⅰ	3前	2	1					
	民族スポーツイベント論特講Ⅱ	3後	2	1					
	スポーツイベント経営論Ⅰ	3前	2		0 +		兼1	担当専任教員退職のため、兼任講師として担当(26)	
	スポーツイベント経営論Ⅱ	3後	2		0 +		兼1	担当専任教員退職のため、兼任講師として担当(26)	
	スポーツと映像文化論Ⅰ	3前 未開講 3前	2	1				通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25)	
	スポーツと映像文化論Ⅱ	3後	2		0 +		兼1	担当教員の就任遅延のため、兼任講師として担当(25)	
	スポーツジャーナリズム論特講Ⅰ	3前 未開講 3前	2		0 +		兼1	理事会決議(平成25年11月)において懲戒解雇処分が承認されたため、担当教員を兼任講師へ変更(26) 担当 熊切圭介(兼任講師) 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25)	
	スポーツジャーナリズム論特講Ⅱ	3後	2		0 +		兼1	理事会決議(平成25年11月)において懲戒解雇処分が承認されたため、担当教員を兼任講師へ変更(26) 担当 田中康弘(兼任講師)	
	トップスポーツプロモーション論演習Ⅰ	4前	2	1			1		
	トップスポーツプロモーション論演習Ⅱ	4後	2	1			1		
	トップスポーツマネジメント論演習Ⅰ	未開講 4前	2	1			1	履修希望者がいなかったため(26)	
	トップスポーツマネジメント論演習Ⅱ	未開講 4後	2	1			1	履修希望者がいなかったため(26)	
	スポーツコミュニケーション論演習Ⅰ	4前	2		0 +		1	兼1	担当教員の就任遅延のため、兼任講師として担当(26)
	スポーツコミュニケーション論演習Ⅱ	4後	2		0 +		1	兼1	担当教員の就任遅延のため、兼任講師として担当(26)
	民族スポーツイベントプロモーション論演習Ⅰ	未開講 4前	2	1			1	履修希望者がいなかったため(26)	
	民族スポーツイベントプロモーション論演習Ⅱ	未開講 4後	2	1			1	履修希望者がいなかったため(26)	
	スポーツイベント経営論演習Ⅰ	4前	2		0 +		1	兼1	担当専任教員退職のため、兼任講師として担当(26)
	スポーツイベント経営論演習Ⅱ	4後	2		0 +		1	兼1	担当専任教員退職のため、兼任講師として担当(26)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)  
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
7	118	0	125	8	117	0	125	
				[ 1 ]	[ Δ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に違っているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

### (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	21,333.69 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	21,333.69 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	15,209 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	15,209 m <sup>2</sup>				
	小 計	36,592.69 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	36,592.69 m <sup>2</sup>				
	その他	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>				
	合 計	36,592.69 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	36,592.69 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	9,019 m <sup>2</sup> ( 9,019 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	9,019 m <sup>2</sup> ( 9,019 m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	16 室	5 室	— 室	3 室 (補助職員 1 人)	— 室 (補助職員 — 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	スポーツプロモーション学部 スポーツプロモーション学科		21 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学生の学習環境を改善 するため、図書を139 冊増巻した。図書は毎 年度、増巻する。 (25)	
	スポーツプロ モーション学部	6,916〔 744 〕 7,055 (6,916〔 744 〕)	118〔 3 〕 ( 118〔 3 〕)	—〔 — 〕 ( —〔 — 〕)	74 ( 74 )	2,242 ( 2,242 )	— ( — )		
	計	6,916〔 744 〕 7,055 (6,916〔 744 〕)	118〔 3 〕 ( 118〔 3 〕)	—〔 — 〕 ( —〔 — 〕)	74 ( 74 )	2,242 ( 2,242 )	— ( — )		
(6) 図 書 館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数						
	227.2 m <sup>2</sup>	100 席	11,000 冊						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	1,845 m <sup>2</sup>	トレーニング演習室							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費にデータ ベースの整備費（運用 コストを含む。）を含 む。
		教員1人当り研究費等	800千円	800千円	図書購入費	240千円	150千円	100千円	
		共同研究費等	1,450千円	570千円	設備購入費	58,000千円	75,000千円	2,500千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		570千円	540千円	540千円	540千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、寄付金等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	日本ウェルネススポーツ大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
スポーツプロモーション学部 スポーツプロモーション学科	4	220	3年次60	1000	学士 (18・27・31・34学)	0.36	平成24年度	<small>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1</small> <small>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1</small>		AC対象学部学科等についても本様式に記入してください。
大学の名称	〇〇短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。